

高齢者の皆さんへ

～家族みんなで声を掛け合い、高齢者の外出に配慮しましょう～

道路を歩くとき

- 「無理な横断事故のもと」「急がば回れ」の心掛け
- 横断歩道も一旦止まって左右確認
- 交差点では、青信号でも右折・左折してくる車に注意
- 止まっている車の前後からの急な横断は、絶対にしない
- 手押し車や杖など使用時は、顔を上げて周りに注意



自転車に乗るとき

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - 2 車道は左側を通行
 - 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
 - 5 子供はヘルメットを着用
- ※ 高齢者の方もヘルメットを着用するよう心がけましょう。



夜間は自分の存在をアピールしましょう

夜間、車のライト点灯により、歩行者や自転車からは車がよく見えますが、車の運転者からは歩行者等が見えにくいものです。車から歩行者が見える距離は、着ている衣服の色によって違います。

白色等の明るい色の衣服や反射材・LEDライトを身に付け、事故に遭わないようにしましょう。



宮城県・宮城県警察

高齢ドライバーの 皆さんへお願い



体調が悪い時は運転を控えましょう。

運転中に意識を失うなどして、事故を起こす高齢ドライバーが少なくありません。また、服用した薬の影響などにより、安全運転に必要な心身機能が大きく低下する危険もあります。

車に乗ったら、シートベルトを着用しましょう。

助手席、後部座席の同乗者もシートベルトを着用しなければなりません。



「高齢運転者マーク」を付けましょう！

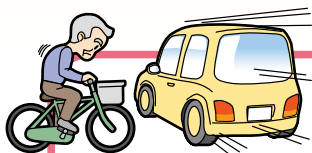
満70歳以上のドライバーは、「高齢運転者マーク」を車の前後面に付けましょう。



高齢運転者マーク

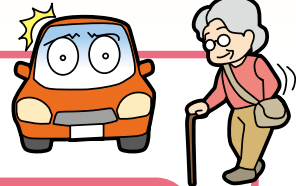
運転能力を確認しましょう。

安全に運転するために、運転適性診断や認定教育等を積極的に受けるなどして、自分の運転能力を確認しておきましょう。



あなたはどうですか？

～交通事故につながりやすい高齢者の行動特性～



自宅周辺での「油断」

「家が近いから」、「慣れた道だから」という油断が、事故につながります。

判断力の低下

道路を渡るタイミングが遅れる危険があります。

視機能の低下

加齢により「動体視力」や遠近を判断する「深視力」の低下や、視野が狭くなることで、車の存在に気付かないことがあります。

筋力の低下

前傾姿勢になり、うつむいて周りが見えなくなったり、移動のスピードが遅くなって、道路を渡り終えるまでに時間がかかったりします。